



2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明資料

2024年11月14日

証券コード：4022

目 次

1. 事業概要

2. 2025年3月期 第2四半期（中間期）実績

1. 事業概要

事業概要

会社概要

商号	ラサ工業株式会社
本社	東京都千代田区外神田一丁目18番13号
創業	1913（大正2）年 5月 1日
設立	1918（大正7）年 6月 26日
従業員数	620名（連結）

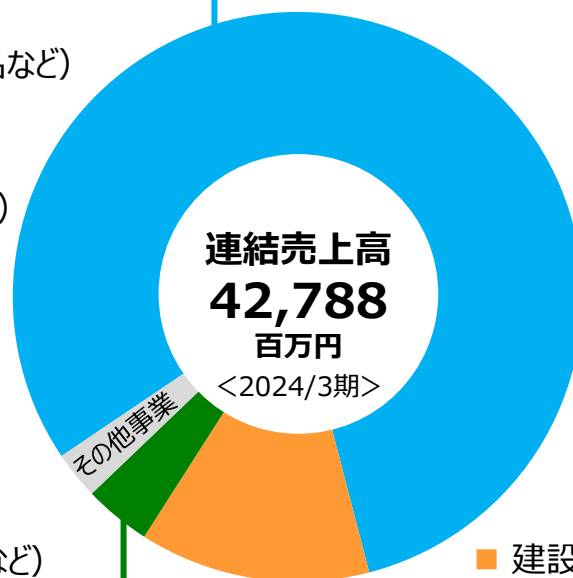
<2024年3月31日現在>

化成品事業 34,391百万円／80.4%

- リン系製品
リン酸（一般品、電子工業向け高純度品など）
リン酸塩など
- 凝集剤（水処理用など）
- その他（コンデンサー向け原料、消臭剤など）

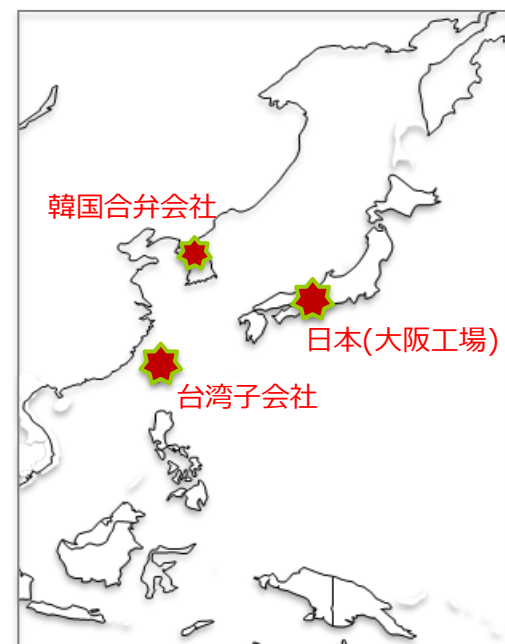
- 化合物半導体向け高純度無機素材
（ガリウム、インジウム、赤リン、酸化ホウ素など）
- 放射性ヨウ素吸着剤

電子材料事業 1,635百万円／3.8%



- 建設機械（破碎機、選別機、粉体機器）
- 土木機械（掘進機（上下水道向け））

機械事業 5,584百万円／13.1%



<半導体向け高純度リン酸の製造体制>

2. 2025年3月期 第2四半期（中間期）実績

2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要

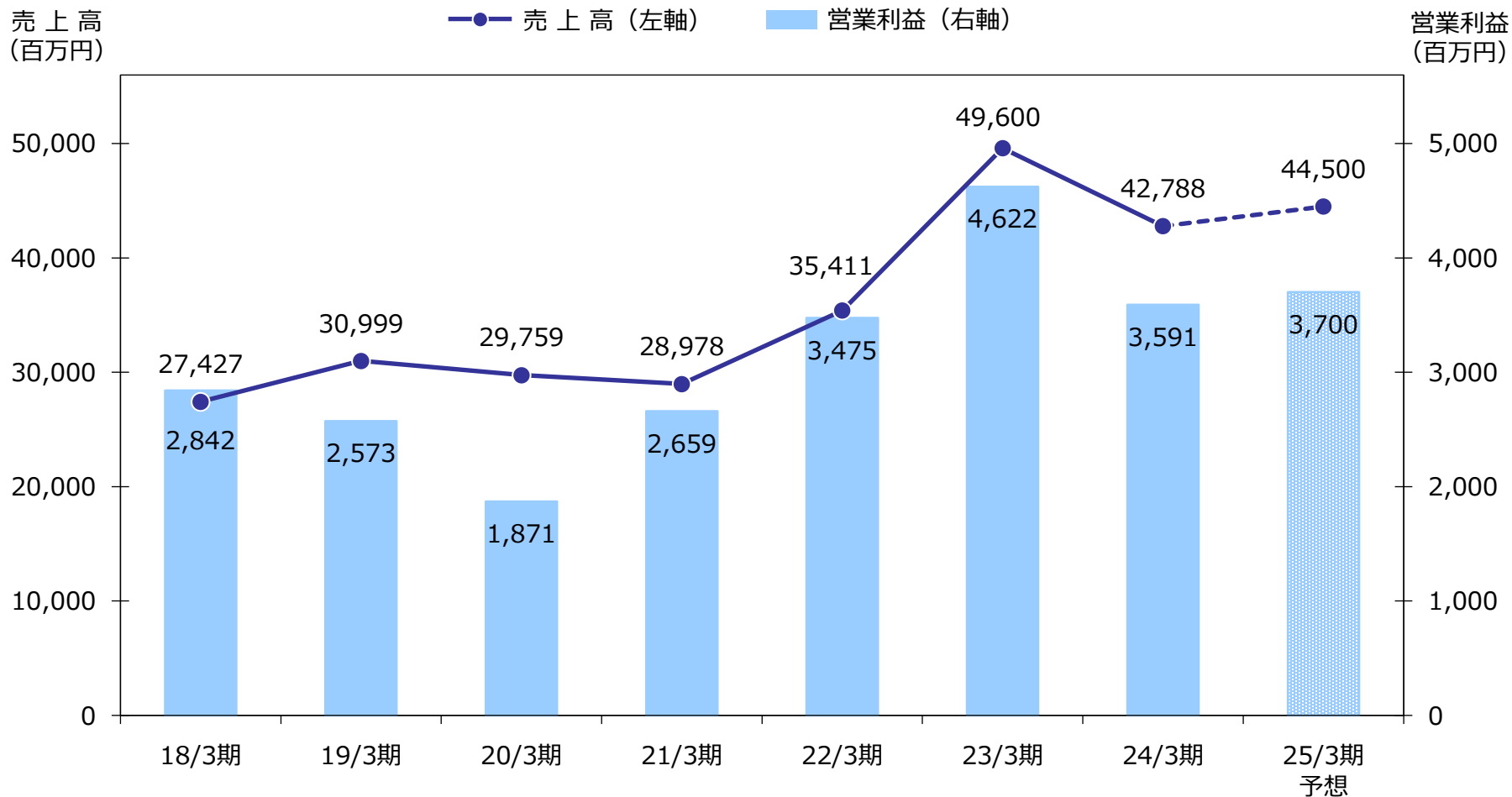
- 売上高は、化成品事業、電子材料事業、その他事業において市況の回復等により増収。機械事業は減収。
- 営業利益は、全体的には市況の回復による販売数量増等を主因として、23.3%の増益。但し、機械事業は棚卸資産評価損の影響により大きく減益。

（単位：百万円）

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減	前年同期比	中間期 期初予想	増減
売 上 高	20,640	21,849	1,208	5.9%	21,500	349
営 業 利 益	1,376	1,697	320	23.3%	1,700	△ 2
経 常 利 益	1,353	1,612	259	19.1%	1,600	12
親会社株主に帰属する 中間純利益	991	973	△ 18	△ 1.9%	1,100	△ 126
（減価償却費）	930	939	9	1.0%		

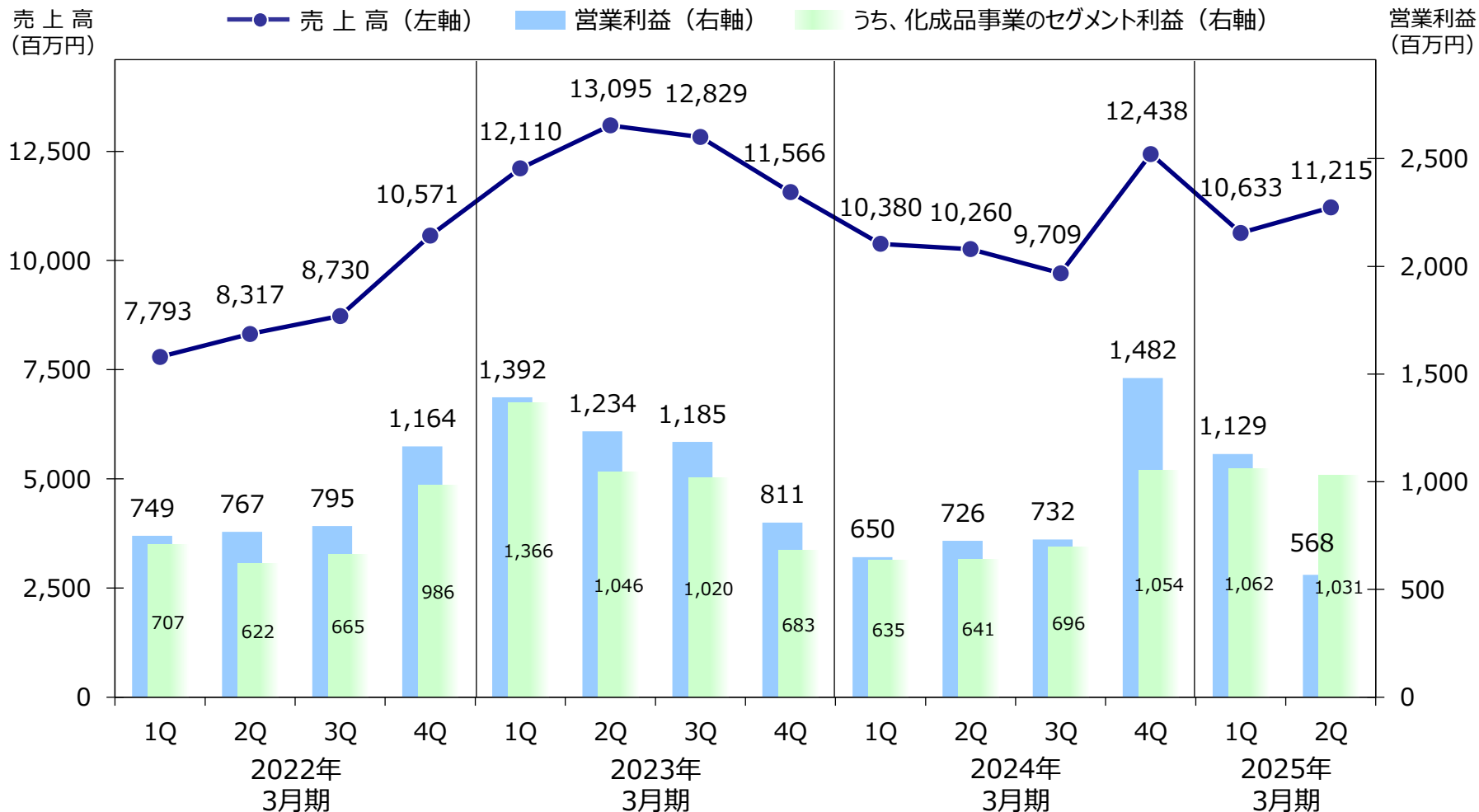
年度業績の推移

売上高と営業利益の推移



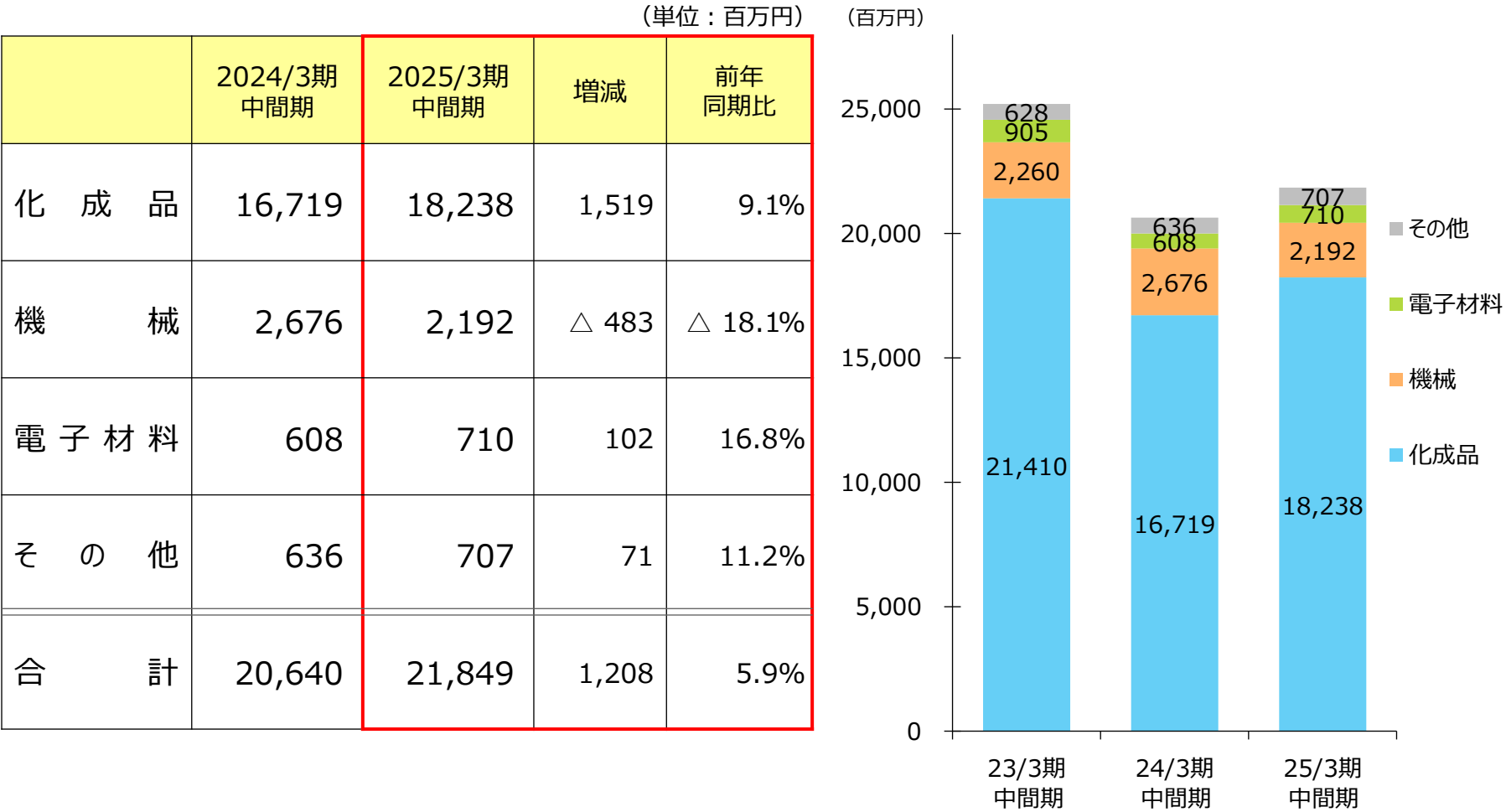
四半期業績の推移

四半期売上高と営業利益の推移



2025年3月期 第2四半期（中間期） セグメント別概要（売上高）

売上高の推移



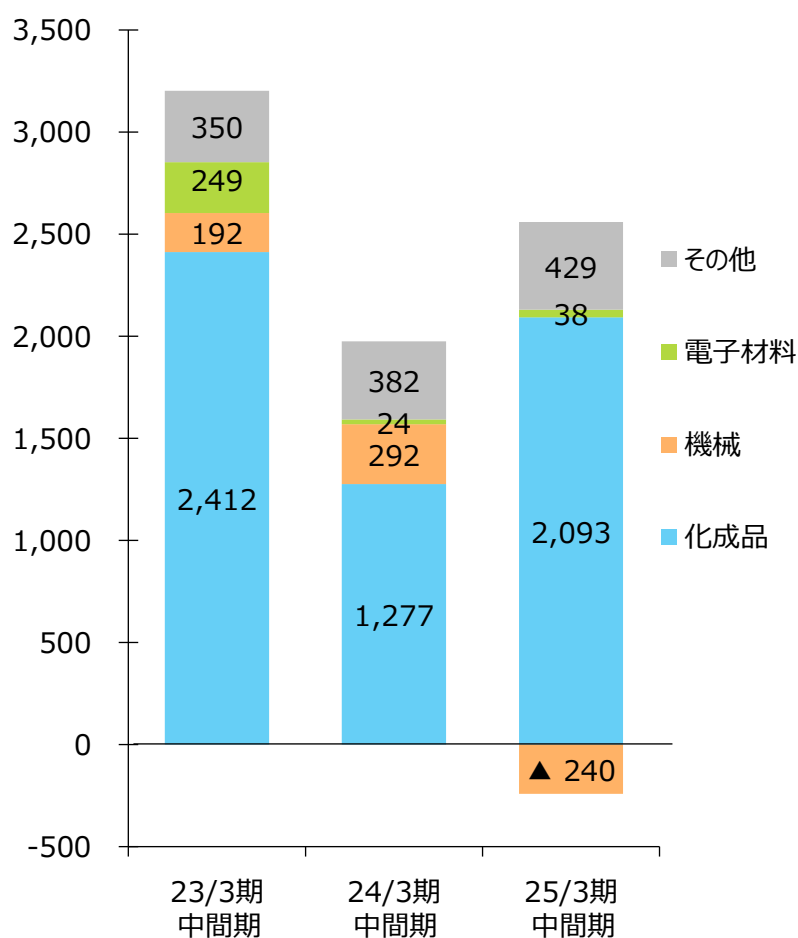
2025年3月期 第2四半期（中間期） セグメント別概要（利益）

セグメント利益の推移

（単位：百万円）

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減	前年 同期比
化 成 品	1,277	2,093	815	63.8%
機 械	292	△ 240	△ 533	△ 182.3%
電 子 材 料	24	38	14	61.8%
そ の 他	382	429	46	12.2%
（ 調 整 額 ）	△ 600	△ 623	△ 22	—
合 計	1,376	1,697	320	23.3%

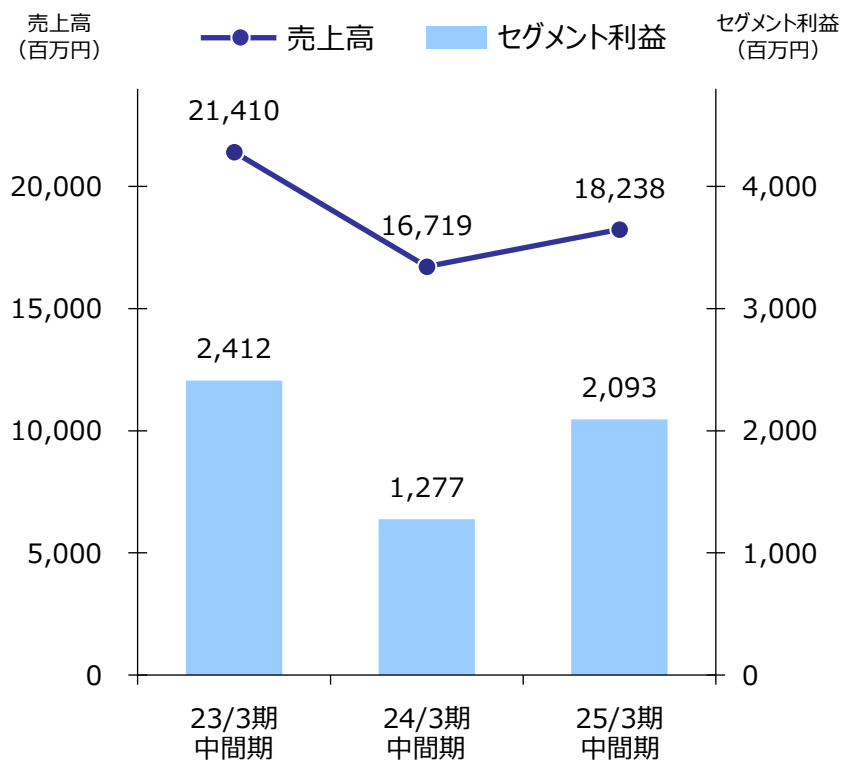
（百万円）



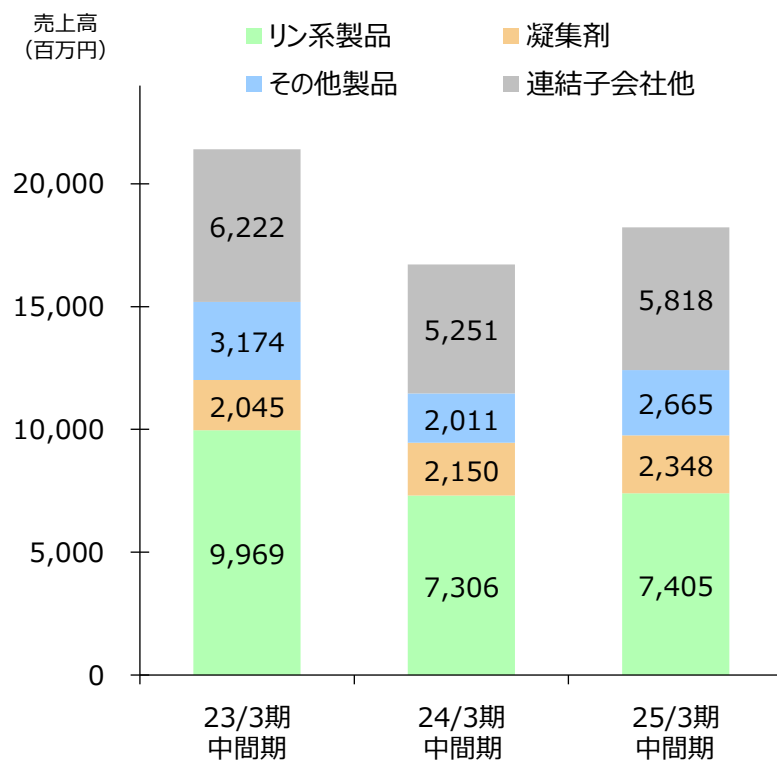
化成品事業

- リン系製品は、一般品等は数量減により減収となったが、半導体向け高純度品は好調に推移し、数量増により増収。
- 凝集剤は、上水道向け製品、電子部品のエッチング用途向けともに販売数量増となり増収。
- その他製品は、コンデンサー向け原料が、在庫調整の緩和により販売数量増となり増収。
- 営業利益は、半導体・電子部品関連の市況回復による販売数量増により、63.8%の大幅増益。

【化成品事業】 売上高とセグメント利益の推移

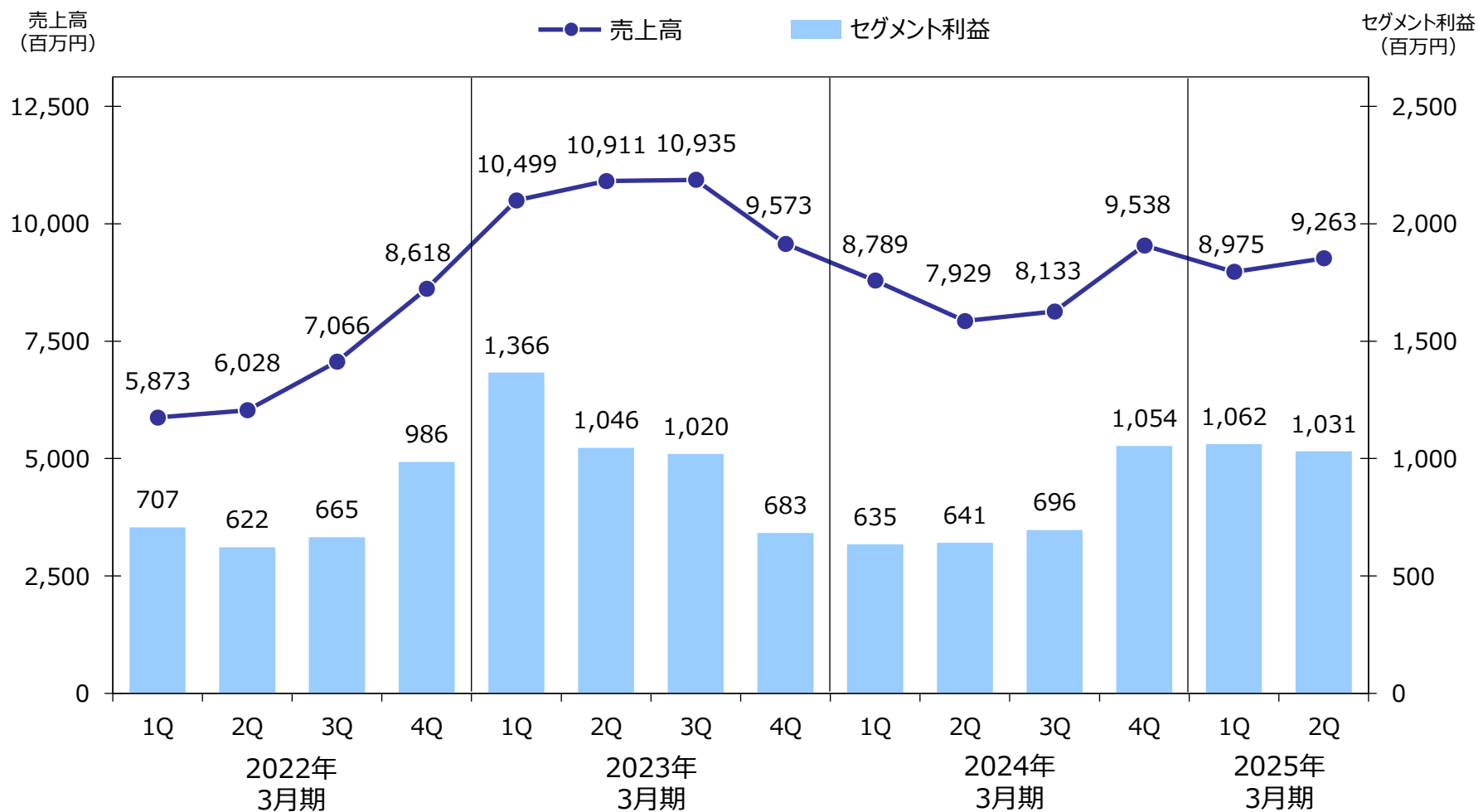


【化成品事業】 製品別売上高の推移



化成品事業（四半期業績）

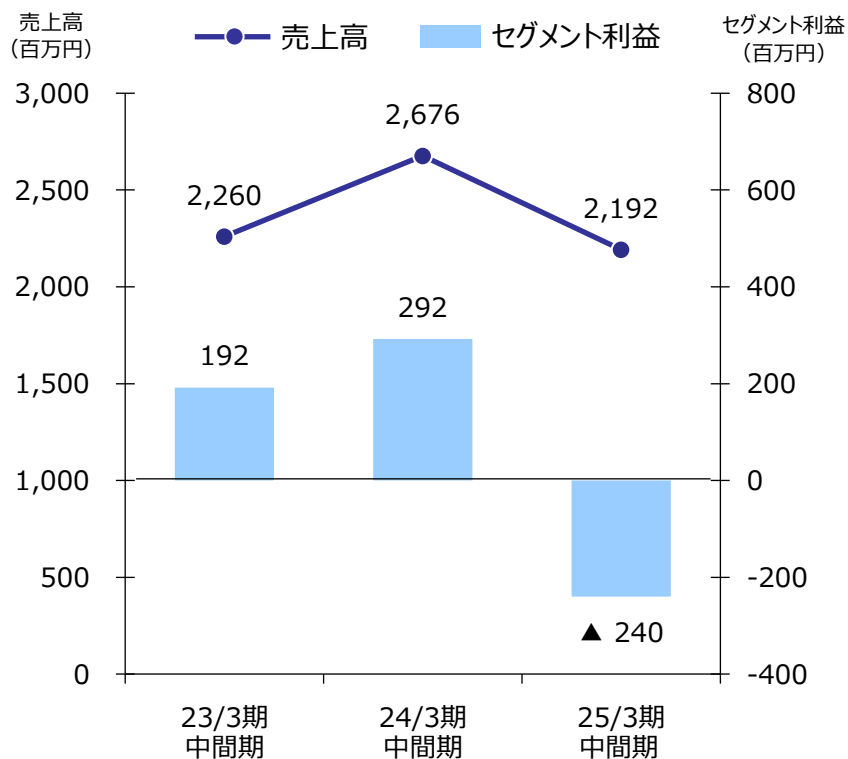
【化成品事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



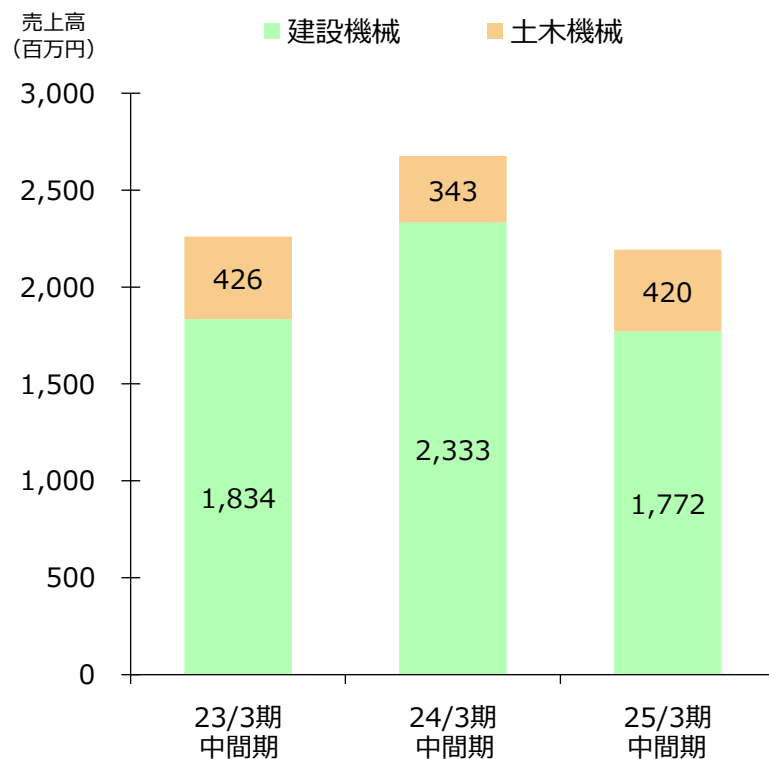
機械事業

- 建設機械は、本体販売は増収となったが、プラント販売は前期に大型案件の販売があったことから、大きく減収。精密機械加工はほぼ前年並み。
- 土木機械は、海外向け本体販売は増収となったが、国内向け本体販売、レンタル物件が減収。
- 建設機械のプラント販売関連の棚卸資産評価損の影響から、2億40百万円の営業損失。

【機械事業】 売上高とセグメント利益の推移

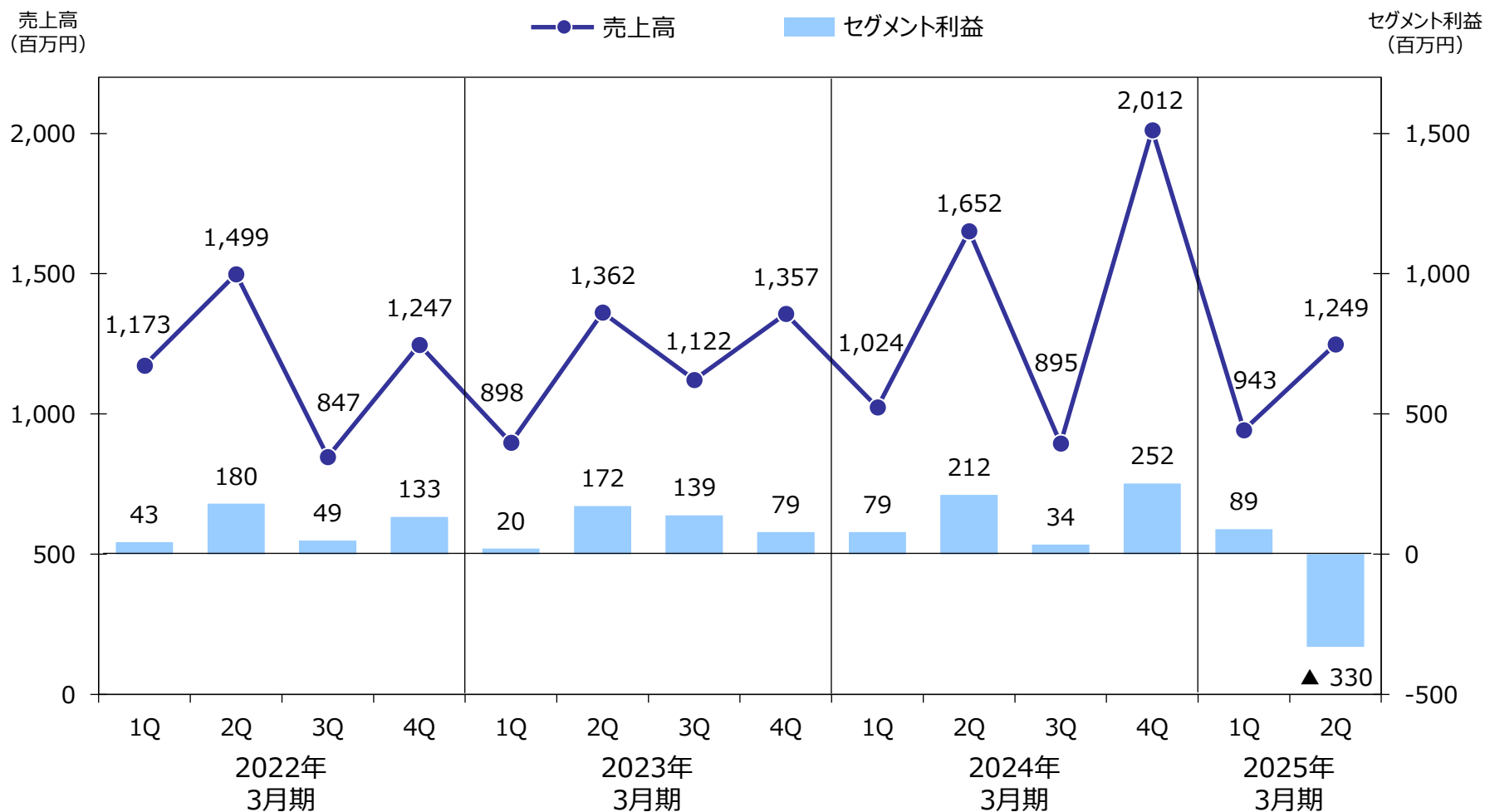


【機械事業】 製品別売上高の推移



機械事業（四半期業績）

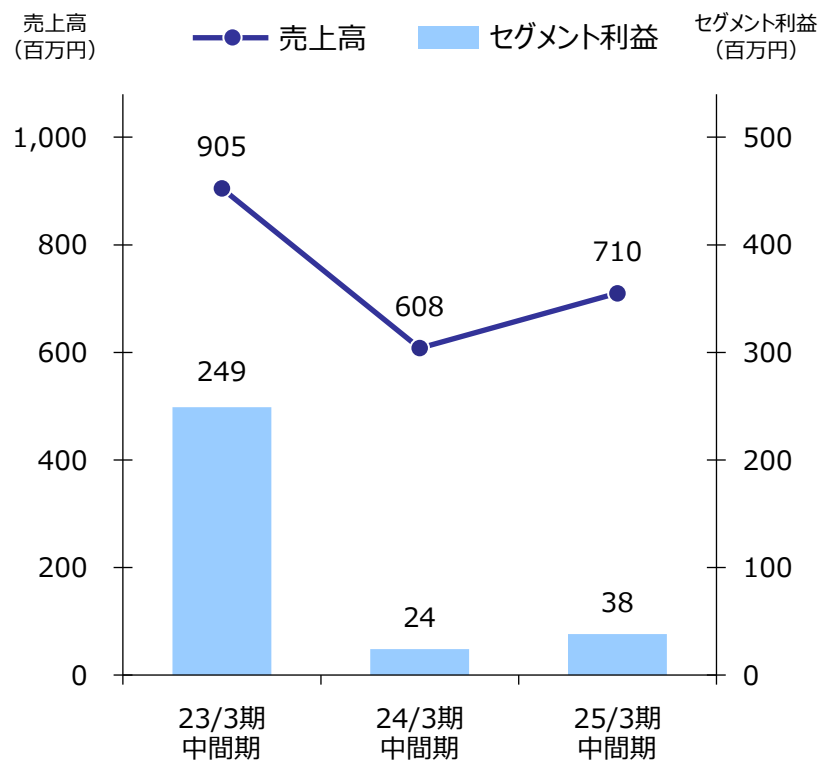
【機械事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



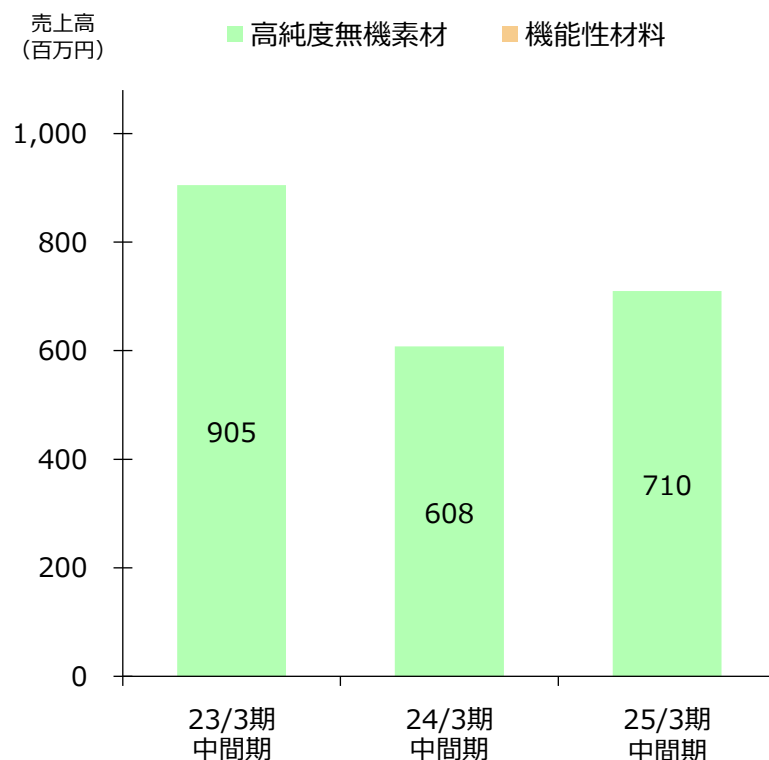
電子材料事業

- 化合物半導体向け高純度無機素材は、回復傾向にある半導体市況の影響から、赤燐や酸化ホウ素、インジウムが増収。
- 営業利益は、売上の増加に伴い、61.8%の増益。

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の推移

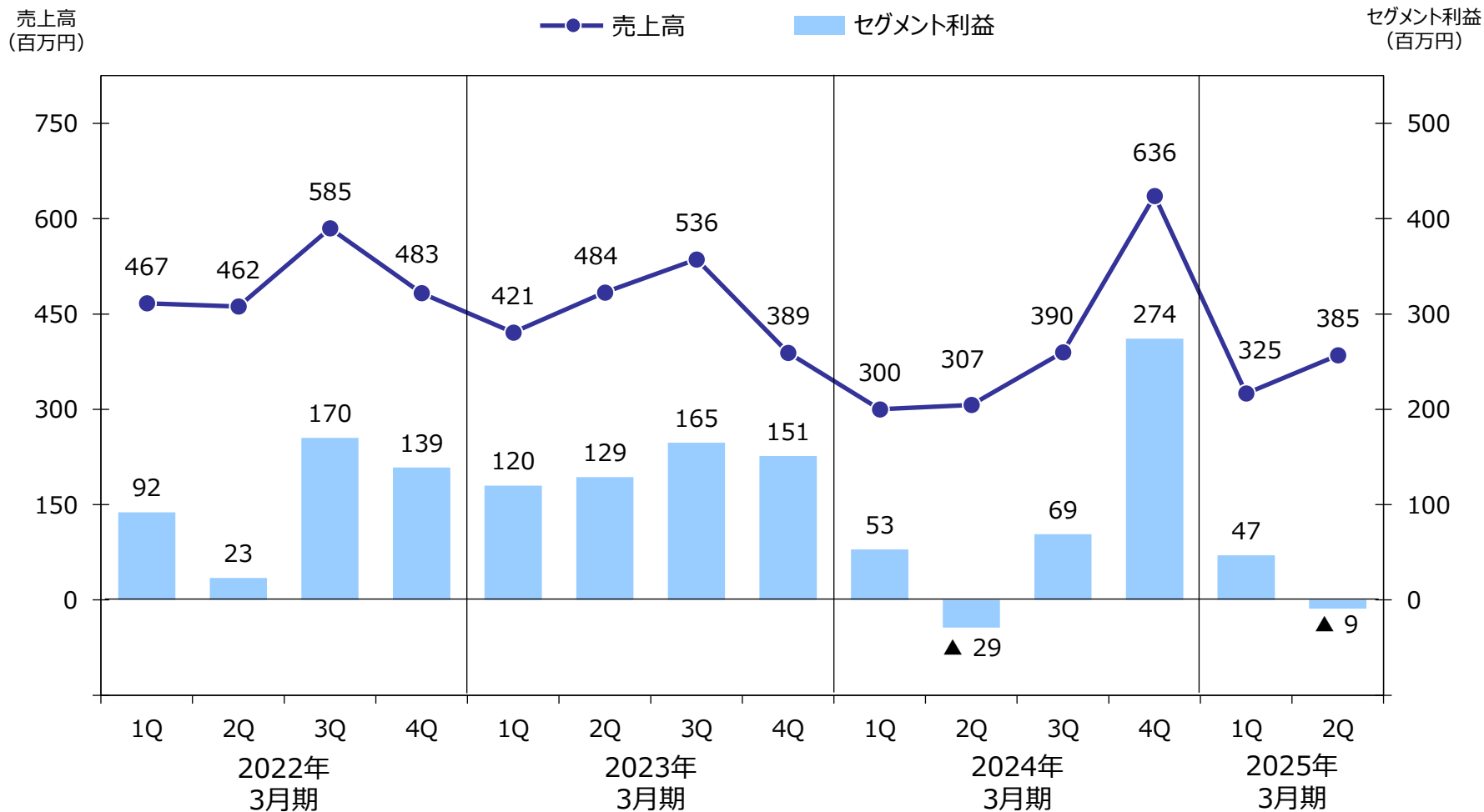


【電子材料事業】 製品別売上高の推移



電子材料事業（四半期業績）

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減	前年同期比
売上高	20,640	21,849	1,208	5.9%
売上原価	16,842	17,634	792	4.7%
販売費・一般管理費	2,421	2,516	95	3.9%
営業利益	1,376	1,697	320	23.3%
営業外収益	172	94	△ 77	△ 45.0%
営業外費用	195	180	△ 15	△ 8.1%
経常利益	1,353	1,612	259	19.1%
特別利益	140	—	△ 140	—
特別損失	—	6	6	—
税金等調整前中間純利益	1,494	1,606	111	7.5%
親会社株主に帰属する 中間純利益	991	973	△ 18	△ 1.9%
（減価償却費）	930	939	9	1.0%

貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	2024/3月末	2024/9月末	増減
流動資産	22,497	21,286	△ 1,211
現金及び預金	3,405	3,721	316
受取手形及び売掛金	12,232	11,154	△ 1,077
棚卸資産 ※	6,477	6,052	△ 425
固定資産	21,826	22,089	263
有形固定資産	17,325	17,562	236
無形固定資産	48	45	△ 2
投資その他の資産	4,452	4,481	28
資産合計	44,323	43,375	△ 947
流動負債	12,134	11,007	△ 1,126
支払手形及び買掛金	4,326	3,263	△ 1,063
短期借入金	5,108	4,895	△ 212
固定負債	7,222	6,287	△ 935
長期借入金	3,804	2,882	△ 921
退職給付に係る負債	3,031	2,981	△ 50
純資産合計	24,966	26,080	1,114
株主資本	23,909	24,509	599
その他の包括利益累計額	1,057	1,571	514
＜自己資本比率＞	56.3%	60.1%	3.8%

※ 棚卸資産＝商品及び製品＋仕掛品＋原材料及び貯蔵品

2025年3月期の業績予想 (2024年11月14日セグメント内訳見直し)

- 化成品事業は、電子部品関連市場の調整局面からの回復傾向が継続する想定から、増収増益を見込む。
- 機械事業は、下水道関連の掘進機は海外向け販売が回復するものの、破碎関連機械は工期の長いプラント販売が前期に集中した反動から、減収を見込む。
また、プラント販売関連の棚卸資産評価損の影響で大幅な減益を見込む。
- 電子材料事業は、高純度赤燐や酸化ホウ素等は販売数量が回復するものの、ガリウムは販売数量の減少から、減収減益を見込む。

(単位：百万円)

	2024/3期	2025/3期予想	増減	前年同期比	期初予想
売上高	42,788	44,500	1,712	4.0%	44,500
化成品事業	34,391	37,400	3,009	8.7%	37,200
機械事業	5,584	4,500	△ 1,084	△ 19.4%	4,500
電子材料事業	1,635	1,450	△ 185	△ 11.3%	1,650
その他の事業	1,177	1,150	△ 27	△ 2.3%	1,150
営業利益	3,591	3,700	109	3.0%	3,700
化成品事業	3,028	4,050	1,022	33.8%	3,650
機械事業	579	50	△ 529	△ 91.4%	400
電子材料事業	368	100	△ 268	△ 72.8%	150
その他の事業	760	750	△ 10	△ 1.3%	750
全社費用など	△ 1,144	△ 1,250	△ 106	—	△ 1,250
経常利益	3,396	3,600	204	6.0%	3,600
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,382	2,500	118	5.0%	2,500
1株配当金	91.00円	96.00	5.00	5.5%	96.00円

想定為替レート

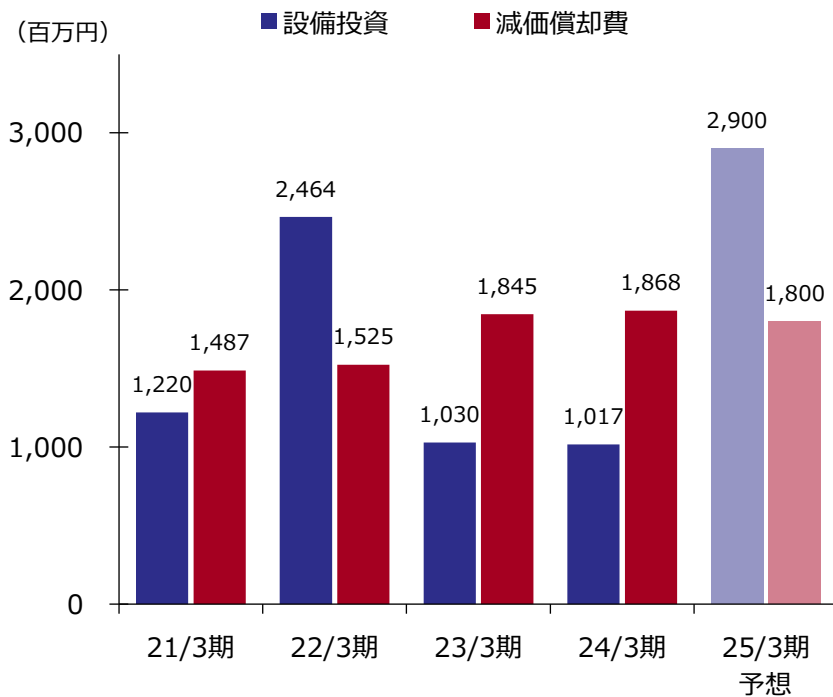
150円/USD

147円/USD

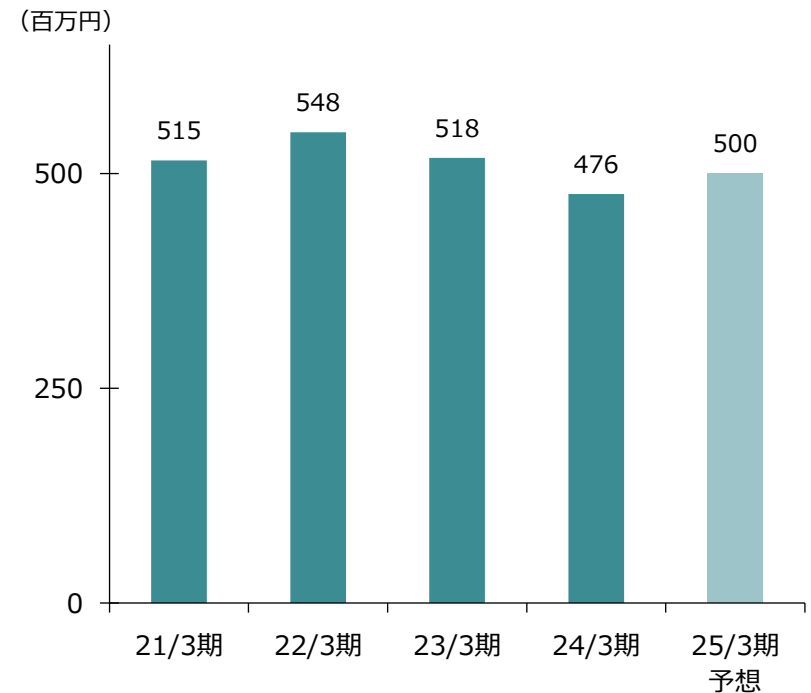
設備投資・減価償却費及び研究開発費の推移

- 設備投資は、化成品事業において、台湾子会社で半導体向け高純度リン酸の製造設備増設を計画（投資額 約30億円、台湾の生産能力4割アップ、2026年3月期に完工予定）。
その他は主に維持更新投資が中心。
- 研究開発費は、主に電子材料事業において、原子力の安全性・信頼性向上のための研究開発（当社製品：放射性ヨウ素吸着剤等の研究開発）を2021年3月期から継続。

設備投資・減価償却費



研究開発費



本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだもののご理解下さい。

－IRに関する問い合わせ窓口－
ラサ工業株式会社 経理部
03-3258-1835